

みずほCustomer Desk Report 2025/02/06 号(As of 2025/02/05)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	154.08
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	154.13	1.0372	160.01	1.2479	0.6253
SYD-NY High	154.45	1.0443	160.16	1.2550	0.6296
SYD-NY Low	152.11	1.0370	158.52	1.2465	0.6241
NY 5:00 PM	152.62	1.0403	158.76	1.2506	0.6285
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	44,873.28	317.24	日本2年債	0.7600%	0.0200%
NASDAQ	19,692.33	38.31	日本10年債	1.2800%	0.0100%
S&P	6,061.48	23.60	米国2年債	4.1869%	▲0.0269%
日経平均	38,831.48	33.11	米国5年債	4.2490%	▲0.0686%
TOPIX	2,745.41	7.39	米国10年債	4.4231%	▲0.0884%
シカゴ日経先物	39,005.00	▲140.00	独10年債	2.3590%	▲0.0335%
ロンドンFT	8,623.29	52.52	英10年債	4.4350%	▲0.0860%
DAX	21,585.93	80.23	豪10年債	4.3850%	▲0.0430%
ハンセン指数	20,597.09	▲192.87	USDJPY 1M Vol	10.14%	0.58%
上海総合	3,229.49	▲21.11	USDJPY 3M Vol	10.28%	0.27%
NY金	2,893.00	17.20	USDJPY 6M Vol	10.10%	0.31%
WTI	71.03	▲1.67	USDJPY 1M 25RR	▲1.59%	Yen Call Over
CRB指数	307.98	▲1.32	EURJPY 3M Vol	10.66%	0.31%
ドルインデックス	107.58	▲0.38	EURJPY 6M Vol	10.43%	0.21%

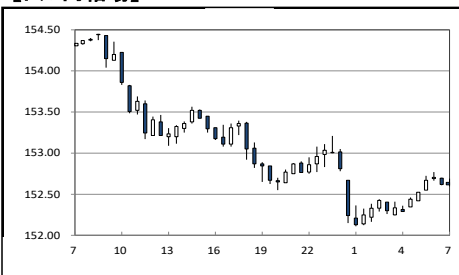
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月5日	10:45	中 Caixin中国PMIサービス業	1月 51	52.4
	16:45	仏 鉱工業生産(前月比/前年比)	12月 -0.4%/-1.7%	-0.2%/-1.2%
	16:45	仏 製造業生産(前月比/前年比)	12月 -0.7%/-2.6%	0.2%/
	19:00	欧 PPI(前月比/前年比)	12月 0.4%/0%	0.5%/-0.1%
	22:15	米 ADP雇用統計	1月 183k	150k
	22:30	米 貿易収支	12月 -\$98.4b	-\$96.8b
	23:45	米 サービス業PMI・確報	1月 52.9	52.9
	23:45	米 コンポジットPMI・確報	1月 52.7	52.5
2月6日	00:00	米 ISM非製造業景況指数	1月 52.8	54

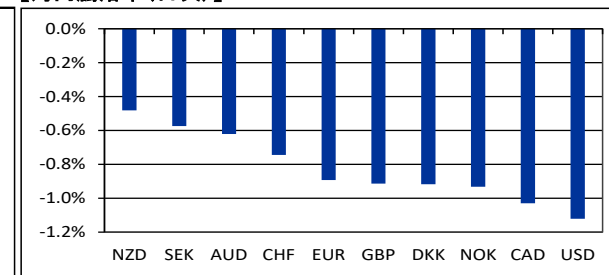
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月6日	09:30	豪 貿易収支	12月 A\$6500m	A\$7079m
	16:00	独 製造業受注(前月比)	12月 2.0%	-5.4%
	19:00	欧 小売売上高(前月比)	12月 -0.1%	0.1%
	22:30	米 新規失業保険申請件数	1-Feb 214k	207k

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	151.00-153.50	1.0300-1.0550	156.50-160.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は一日を通して軟調な展開。東京時間オープン前に発表された12月毎月勤労統計の実質賃金総額の前年比が予想対比堅調だったこと、日政府側の「現在の経済はインフレ状態」との発言を受けて日銀のさらなる利上げが意識され円買い地合いとなり東京時間で153円前半まで下落。その後もドル売りも重なり軟調な展開が続き、米国時間に発表された1月ADP雇用統計やISM非製造業指数が軟調だったことを受けて一時152.11円を付ける。ドル売りに巡後はやや値を戻し、152.62円でクローズ。

本日のドル円は上値が重い展開を予想。およそ二か月ぶりの円高水準になっており、今まで買うタイミングを逃していた実需の層からの買いが相応に入りやすいか。とはいえ金曜日の米1月雇用統計を前にして様子見したい参加者も相応にいると思われ、買い一辺倒にはならないと予想。ドル側で見ると重要指標を前に引き続きトランプ政権の貿易戦争に対する警戒感からドル買いも手控えられやすく、思惑が交錯し一方的な展開にはなりにくいと思われる。

東京	東京時間のドル円は154.13レベルでオープン。取引時間前に発表された本邦12月毎月勤労統計において、実質賃金総額の前年比が予想対比上振れ且つプラス圏に浮上したことで、日銀による追加利上げのペース加速が意識され円買いが進行。153.09までほとんど調整なく下落したのち、若干買い戻され153.31レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、153.31レベルでオープン。関税リスクに対するヘッジのアンwindが続いているのか全体的なドル売りとなり、米10年債利回りの下落を伴って152.55まで売られる。その後若干反発し、152.87レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は154円台半ばでスタート。本邦12月毎月勤労統計が予想を上回ったことや、赤沢経財相が植田総裁同様「現在の経済はインフレ状態」との認識を示した事を受け、円買いの流れとなり、152.87レベルでNYオープン。午前中に発表された米1月ISM非製造業景況指数が予想を下回った事を受け、ドル売りが優勢となり、152.11まで続落する。午後は売りに巡り、152.80付近までじりじりと戻し、その後152.62レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.03台後半でスタート。米金利の低下を受けたドル売りが支えとなり、じり高で推移し、1.0419レベルでNYオープン。午前中は先述の予想より減速した米経済指標の結果を受け、ドル売りが一段と強まる中、1.0443まで上値を伸ばす。午後はドル売りに巡り、その後1.0397まで反落し、その後1.0403レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。